

## ◇日本語教員養成課程カリキュラム

入学区分：正科生および学士の学位（大学卒業資格など）を有する科目等履修生

修了要件：必修 14 単位（教育実習を含む）および選択必修 2 単位を含む 27 単位以上（うち日本語教育実習をのぞくスクーリングまたはメディア授業（ライブ型）5 単位を含む）

※修了には最短でも 2 年を要します。

総計 27 単位以上

必修  
14 単位

教育実習  
1 単位

選択必修  
2 単位以上

スクーリングまたはメディア授業（ライブ型）  
5 単位以上  
※通常のメディア授業と教育実習は含まない

開講科目については、変更する場合があります。入学後、必ず学生便覧や el-Campus で確認してください。

区分	科目名	レベル	単位	授業方法	必修・選択
社会・文化・地域	日本語教育	100	2	通信授業	必修2単位 選択
	宗教学	100	2	通信授業	
	俳句一十七字の世界一	200	1	メディア授業	
	ジャパノロジー入門	100	1	通信授業	
	アメリカの文化と歴史	200	1	通信授業	
	ヨーロッパの文化と歴史	200	1	通信授業	
	アジアの文化と歴史	200	1	通信授業	
	日本の文化と歴史	200	1	通信授業	
言語と社会	日本語教育特講	300	1	通信授業	必修2単位 選択
	世界の日本語教育	300	1	通信授業	
	地域の日本語教育	300	1	通信授業	
	異文化コミュニケーション	200	2	通信授業	
言語と心理	異文化コミュニケーション演習	200	1	スクーリング(2日間)	選択必修 2単位以上
	学習・言語心理学	100	2	通信授業	
	文化心理学	300	2	通信授業	
	認知心理学	300	2	通信授業	
言語と教育	心理学総合演習	300	2	スクーリング(3日間)	必修3単位 選択
	日本語教授法 A	100	1	通信授業	
	日本語教授法 B	200	1	通信授業	
	日本語教育実習 ※下記履修条件を参照	400	1	スクーリング ※教育実習(5日間~)(事前事後研修含まず)	
	ビジネス日本語教授法	200	1	通信授業	
	日本語教育読解演習	300	1	メディア授業(ライブ型)(2日間)	
	日本語教育聴解演習	300	1	メディア授業(ライブ型)(2日間)	
	日本語教育作文演習	300	1	メディア授業(ライブ型)(2日間)	
	日本語教育会話演習	300	1	メディア授業(ライブ型)(2日間)	
	日本語教育文字・語彙演習	300	1	メディア授業(ライブ型)(2日間)	
	日本語教育演習 I	300	1	通信授業	
言語	情報活用 I (基礎)	100	2	スクーリング(3日間)	必修7単位 選択
	教育・学校心理学	200	2	通信授業	
	オンライン教育概論	300	2	通信授業	
	日本語教育と音声	100	1	通信授業	
	日本語教育文法 I	200	1	通信授業	
	日本語教育文法 II	200	1	通信授業	
	対照言語学	200	1	通信授業	
	日本語学研究	300	1	通信授業	
	言語とコミュニケーション論	200	1	通信授業	
	計量言語学	300	1	通信授業	
	基礎英語 I	100	2	通信授業	
	基礎英語 II	100	2	通信授業	
	英語 I	200	2	通信授業	
	英語 II	200	2	通信授業	
韓国語入門	100	1	通信授業		
韓国語応用	100	1	通信授業		
中国語入門	100	1	通信授業		
中国語応用	100	1	通信授業		
プレゼンテーション概論	100	2	メディア授業		
プレゼンテーション演習 I (基礎)	100	2	メディア授業		
コミュニケーション概論	100	2	通信授業		

〈教育実習の履修条件〉

- ①在学2年目(2025年度4月入学の場合2026年4月、10月入学の場合2026年10月)以降で、履修登録時において日本語教育実習を除く必修12科目13単位を修得済であること(履修登録できるのは、2025年度4月入学の場合2026年4月以降に、10月入学の場合2026年10月以降に開講するもの)
- ②初級学習者向けの教案が作成でき、またその教案を用いて模擬授業、教壇実習を行えるだけの基礎理論と技能を習得していること
- ③担当教員による学内審査により適格と判断された者(実習先により異なる)

※提携実習先での教育実習を希望する場合は、実習校面接を行う場合があります。  
 志望理由、成績などを総合的に判断(定員を超過した場合は書類審査以外に学内で面接を実施)し、実習校面接の結果、不可となる場合があります。提携実習先は変更となる場合があります。  
 ※本学での教育実習では、定員を超過した場合は、卒業年次生と、学士の学位(大学卒業資格)を有する科目等履修生を優先して履修を許可する場合があります。なおかつ、定員を超過した場合は、「日本語教育実習」履修条件の「必修12科目13単位」科目の成績上位者から選抜します。  
 ※正科生・科目等履修生を問わず、教育実習費用を別途徴収します。  
 ※スクーリングや教育実習の開講日程についてはP32を参照してください。

資格・日本語教員養成課程等について